

ボランティアセンターだより

相生ボランティア連絡協議会

阪神淡路大震災追悼の竹灯り

1995年1月17日午前5時46分、阪神淡路大震災が発生し、6000人以上の方が亡くなりました。また、阪神淡路大震災で被災地支援に関わったボランティアはのべ180万人。この年は「ボランティア元年」とも言われています。この震災をきっかけに、日本の災害対策の取り組みが大きく変わりました。阪神淡路大震災から27年。多くの犠牲者を悼むとともに、この災害から得た教訓を忘れることなく、身近に起こりうる災害への備えを心がけておきたいと思えます。

展示期間

令和6年1月14日(日)～1月20日(土) 8:30～19:00

展示場所

相生老人福祉センター 1階ロビー



1/17は「防災とボランティアの日」 1/15～1/21は「防災とボランティア週間」

展示期間中はどなたでもご自由にご覧いただけます。日没後が特にキレイに見えます☆



★竹灯り作品募集(展示ご協力のお願い)★

竹灯りをお持ちの方、展示にご協力ください！展示期間中、作品を貸出しただけの方は、1月12日(金)までに那賀町社会福祉協議会各支所までお持ちいただくか、那賀町ボランティアセンター(社会福祉協議会)までご連絡くださいませ。よろしくお願ひ致します。展示期間終了後、作品は返却いたします。

みんなで HUG しよう！



はぐ♡



日時

令和6年2月4日(日) 10:00～12:00

場所

那賀町地域交流センター2階 交流ホール

講師

青木 正繁 氏(阿南防災士の会 副会長)

対象

地域防災に関心のある方はどなたでも参加可能

主催

那賀町防災士の会 協力 那賀町防災課

HUG(はぐ)

英語で意味は「抱きしめる」。避難所運営ゲーム(Hinanjyo Unei Game)の略です。避難所運営者の立場で、災害時に避難者を優しく受け入れるための避難所について模擬体験(カードを使ったゲーム)を通して考えます。

災害時の避難所運営は、住民が主体となって行われます。避難所には、いろいろな人が集まり、様々な問題が起こります。そのような状況に対処するために、事前に模擬体験をしておきましょう。HUGでは、過去に避難所で実際に起きた問題や出来事を体験しながら、皆でよりよい避難所運営について考えることができます。この機会に災害への備えの一つとして、地域の避難所を見直し、心の準備もしておきましょう。

HUGはグループ(チーム)で協力して行うゲームです。ぜひ、お誘いあわせの上、ご参加くださいませ！参加希望の方は下記までご連絡を！

社協だより・ボランティアセンターだよりに関するお問い合わせ

那賀町ボランティアセンター(那賀町社会福祉協議会) ☎ 0884-64-0026